

## 第 127 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：平成 16 年 1 月 10 日（土）13:00～15:00

場所：京都パークホテル会議室

出席者：福田 古橋 萩原 戒野 鷲尾 榎木 石淵(記) 長谷川

オブザーバー：廣田薫

欠席者：鳶 柴田 山田

資料：127-1（議題：石淵）

127-2（第 126 回理事会の議事録案：石淵）

127-3（学会誌連載の新企画案：萩原）

127-4（事業委員会からの報告：鷲尾）

127-5（支部・研究部会の申請書案：鷲尾）

127-6（特別会員申請書案：長谷川）

127-7（特別会員候補者一覧表：長谷川）

127-8（FSS2003 会計報告：長谷川）

127-9（会計月次報告：長谷川）

127-10（会員数報告：長谷川）

127-11（横幹連合資料：事務局）

### 議事

#### 1. 前回議事録の確認

第 126 回理事会の議事録が承認された。

#### 2. 電子図書館サービスへの FSS 予稿集の適用について

萩原理事より，国立情報学研究所が提供する電子図書館サービスへの参加を学会誌だけではなく FSS 予稿集に拡張することが提案され，承認された。また，萩原理事より，会員から出された「わかりやすいラフ集合入門」という連載企画の提案および学会誌の編集状況についての説明が行われた。提案された連載企画の内容や解説としての掲載に伴う予算面での問題点などに関する議論を行った結果，経費削減に十分に配慮した上で，会員からのこのような提案には可能な限り柔軟に対応することが確認された。

#### 3. 事業委員会への報告・申請書類と総会報告資料の統合について

鷲尾理事から，支部および研究部会からの「活動・事業自己評価報告，計画，継続・

変更・廃止申請書」の書式に関する提案があり、鷲尾理事から提出された書式案が承認された。また、鷲尾理事から、活動報告書の提出が行われない支部や活発に活動を行っていない研究部会の存在など、現状に関する問題点の説明が行われた。このような問題点に関して議論した結果、活動報告書の提出を徹底させることや支部・研究部会活動の活性化に努めることが確認された。さらに、支部・研究部会活動が低調な場合では、支部の統合や研究部会の廃止等も視野に入れて事業委員会や理事会で検討することが確認された。また、FSS2004 の期間中に支部長および研究部会長の会議を開催し、事業担当の鷲尾理事から上記の方針に関して説明を行うことが確認された。

#### 4. 新規研究部会受付方法・体制について

研究部会の活性化および新陳代謝に関する議論を行った結果、平成 16 年度に予算措置を行い、新規研究部会を広く公募することが承認された。

#### 5. FSS2004, FSS2005, SCIS&ISIS2004 の進捗状況について

鷲尾理事より、FSS2004、FSS2005 および SCIS&ISIS2004 の進捗状況に関する説明が行われた。SCIS&ISIS2004 に関しては、日本と韓国からだけでなく、広く海外から参加者を集めるように努めるという方針が確認された。また、FSS2005 に関しては、国公立大学の独立行政法人化により会場使用料の高騰が予想されるため、関東支部内で開催場所を再検討することが確認された。

#### 6. 特別会員の該当者について

特別会員の資格に関して、「会員歴 15 年以上かつ 65 歳以上かつ定職についていない会員」を条件とすることが確認された。また、原則として、会員からの申請に基づいて理事会で認定を行うことも確認された。このことに関連して、長谷川理事から特別会員申請書の書式案が提案され、承認された。なお、特別会員の会費は通常の会費の半額であるが、学会から受けるサービスは会員と全く同じであることも確認された。

#### 7. 会計および会員数の報告

長谷川理事より、FSS2003 の会計報告、学会の月次会計報告および会員数の増減に関する報告が行われた。FSS2003 の会計報告に関連して、学会活動に対する貢献に対して企業を対象としている実施賞に加えて、個人を対象とした賞を出す方向で検討することが承認された。

#### 8. SOFT アドレスの有効利用について

戒野理事から、SOFT メーリングリストの登録会員が 650 人程度であるという報告が

行われた。このことに関連して、原則として全会員に SOFT メーリングリストに登録して頂くという方針が確認された。また、メーリングリストおよび学会ホームページの有効活用に関して検討を続けることが確認された。

#### **9. 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）への参加継続について**

本理事会にオブザーバーとして参加された廣田前会長より、横断型基幹科学技術研究団体連合に関する現状報告が行われ、平成 16 年度も参加を継続することが承認された。